**（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会　　　　　　　　　　　　　　　　品質管理チェックシート≪木造≫**

　まもりすまい保険設計施工基準に、以下の条件を加えた「（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会　設計・施工基準」に適合する設計としてください。

**加える条件：住宅性能評価基準の劣化対策等級２相当以上**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 基礎高さ | | | □ＧＬ＋400㎜以上（品質管理基準第５条） | | |
| 外壁の軸組等の防腐・防蟻  （右記のいずれか） | | | □外壁通気構法 | | |
| □GL１ｍの範囲 | 柱：□薬剤処理　□小径12㎝以上  　□耐久性区分Ｄ1 の**いずれか** | |
| 柱以外の軸組材：  □薬剤処理　□耐久性区分Ｄ1 の**いずれか** | |
| 合板：□薬剤処理 | |
| 土台の防腐・防蟻対策 | | | □土台に接する外壁下部に水切設置 | | |
| □薬剤処理（Ｋ3以上）　□耐久性区分Ｄ1　　　の**いずれか** | | |
| 浴室・脱衣室の防水 | | | □防水上有効な仕上げ　□ユニットバス設置　　 の**いずれか** | | |
| 基礎内周部(床下地面)の防蟻 | | | □ベタ基礎採用 □地盤の薬剤処理 の**いずれか** | | |
| 床下防湿  （右記のいずれか） | | | □べた基礎 | | |
| □60㎜以上の防湿コンクリートを打設 | | |
| □厚さ0.1㎜以上の防湿フィルムを敷詰める | | |
| 床下換気  （右記のいずれか） | | | □基礎断熱工法等 | | |
| □有効面積：300cm2以上、間隔：４ｍ以内 | | |
| □ねこ土台：１ｍ当たり75㎠以上 | | |
| 小屋裏換気  （右記のいずれか） | □屋根断熱工法 | | | | |
| □独立した小屋裏ごとに２か所以上の換気孔の設置 | | | | |
|  |  | （右記のいずれか）  換気孔有効面積 | □小屋裏の壁（妻壁）に２以上の換気孔を設置 | | 1/300以上 |
| □軒裏に２以上の換気孔を設置 | | 1/250以上 |
| □軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、  かつ小屋裏の壁に排気孔を垂直距離９０㎝  以上離して設置 | | 吸気孔及び排気孔  1/900以上 |
| □軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、  かつ排気筒その他の器具を用いた排気孔を  設置（排気孔は小屋裏頂部に設置） | | 吸気孔1/900以上  排気孔1/1600以上 |
| □軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、かつ  棟部に排気孔を設置 | | 吸気孔1/900以上  排気孔1/1600以上 |

**（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　品質管理チェックシート≪RC造・SRC造≫**

まもりすまい保険設計施工基準に加え、以下に適合する設計・施工いただくことで、

（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会　設計施工基準に適合します。

**■コンクリートの品質等**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　　　様 |
| 使用するセメント  （右記のいずれか） | □ポルトランドセメント（日本工業規格R5210)  □フライアッシュセメント（日本工業規格R5213)  □高炉セメント（日本工業規格R5211) |
| コンクリートのスランプ  （右記のいずれか） | □コンクリート強度が33N／㎟未満：18cm以下  □コンクリート強度が33N／㎟以上：21cm以下 |
| コンクリートの単位水量 | □185kg／㎥以下 |
| コンクリート中の空気量 | □４％～6％  （※日最低気温の平滑平均値の年間極値が0℃を下回る地域の場合） |

**（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　品質管理チェックシート≪Ｓ造≫**

まもりすまい保険設計施工基準に加え、以下に適合する設計・施工いただくことで、（一社）ＪＢＮ・全国工務店協会設計施工基準に適合します。。

**■床下防湿**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　様 |
| 床下地面  （右記のいずれか） | □べた基礎  □厚さ6㎝以上のコンクリートを打設  □厚さ0.1㎜以上の防湿フィルムを敷き詰める。 |

**■床下換気（床下に空間が生じる場合）**

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 仕　　様 |
| 外周部  （右記のいずれか） | □基礎断熱工法  □有効面積：300cm2以上、間隔：４ｍ以内  □ねこ土台：１ｍ当たり75㎠以上 |

**■小屋裏換気（小屋裏空間が生じない場合又は屋根面に断熱材を施工する場合を除く）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □屋根断熱工法 | | | |
| □独立した小屋裏ごとに２か所以上の換気孔の設置 | | | |
|  | (右記のいずれか)  換気孔の有効面積 | □　小屋裏の壁（妻壁）に２以上の換気孔を設置 | 1/300以上 |
| □　軒裏に２以上の換気孔を設置 | 1/250以上 |
| □　軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、  かつ小屋裏の壁に排気孔を垂直距離９０㎝以上  離して設置 | 吸気孔及び排気孔  1/900以上 |
| □　軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、  かつ排気筒その他の器具を用いた排気孔を設置（排気孔は小屋裏頂部に設ける） | 吸気孔 1/900以上  排気孔 1/1600以上 |
| □　軒裏又は小屋裏の壁に給気孔を設置し、  　かつ棟部に排気孔を設置 | 吸気孔 1/900以上  排気孔 1/1600以上 |